

来週の「売り物記事」はこれ



2018年3月9日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

東日本大震災7年 母は語り続ける

11日(日)



東日本大震災は11日で発生7年。宮城県名取市の丹野祐子さん(49)＝写真＝は、中学1年だった長男公太さんを津波で亡くしました。壊滅状態になった地元の閑上(ゆりあげ)地区は盛り土でかさ上げされ、新たなまちづくりが最終盤を迎えています。かつてのまちの面影はありませんが、閑上から離れた仮設住宅で暮らす丹野さんはここに帰ることにしました。見えるものがなくなり、あの日を語ることもしなければ、また同じ犠牲が繰り返されるのではないかと。そんな思いを抱いています。閑上の「語り部」を務める丹野さんの7年間の歩みをつづります。筆者は仙台支局の川口裕之記者です。



「捨てる」から「食べきる」へ…大量廃棄防止への取り組み

「食品ロス」を減らせ！ 夕刊特集ワイド 12日(月)



今年の節分シーズンも、「恵方巻」大量廃棄のニュースが流れました。恵方巻だけではありません。まだ食べられるものを捨ててしまう「食品ロス」は豊かな社会の裏面とも言える現象です。日本では毎日、全国民がおにぎり1個を捨てている計算になる程とか。そんな中、賞味期限間近や売れ残りの商品を割引価格で提供したり、食品メーカーが賞味期限の表示を見直したりする動きが始まっています。「食品ロス」解消の取り組みに迫りました。

介護ロボットの課題

くらしナビA面 15日(木)から

人材不足に苦しむ介護業界で、介護ロボットの利用が脚光を浴びています。コミュニケーションロボットや人工知能(AI)搭載のアプリ、見守りセンサーと種類は多岐にわたります。国は補助金を出すなどしてロボット普及を図っていますが、現場からは利用の難しさを指摘する声が上がっています。ロボット導入の課題を現場から2回にわたって報告します。



進学・入学祝いのマナー

くらしナビA面 14日(水)



春は卒入学や進学のシーズンです。「入学祝い」「卒業祝い」などの名目で、お祝い金やプレゼントを渡すこともあるのでは？ お祝いはこれから始まる新生活を励ます気持ちを形にしたものですが、お祝い金の相場や人気のプレゼント、贈る時期などは気になっても案外知らないものです。専門家やデパートの担当者を取材して、最新のマナーを紹介します。

My Way 松元ヒロさん

週刊 サラダぼうる B面 12日(月)

コメディアン松元ヒロさん＝写真＝は、「明日はきっとよくなると信じるのが大事で、そのためには笑いが必要」と言います。子どもの頃は通知表に「小心者」と書かれるほど気が小さかったのに、高校時代に理不尽な校則や体罰が許せず、「たたいて教えるのはおかしい」と訴えたように、反骨精神もありました。今後も、毒にも薬にもなる笑いを届けていくといます。



寄生虫は人類を救う？

科学面 15日(木)



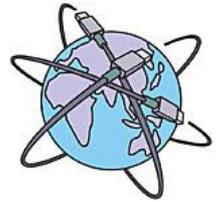
豚に寄生する豚鞭虫(ぶたべんちゅう)の卵を患者に飲んでもらい、大腸や皮膚の病気への治療効果を見極める臨床試験が東京慈恵会医科大でスタートする。健康な男性を対象に、服用の安全性のほか、体の免疫システムがどのように変化するかなどを調べる。「気持ち悪い」と嫌われている寄生虫が、健康に役立つのかどうか注目されている。寄生虫の可能性を探った。

「仮想通貨」の未来は？

金融工学の「あだ花」か 「夢の切符」か

オピニオン面 [論点] 16日(金)

何かと世間を騒がせている仮想通貨。交換業者コインチェックからの大量盗難事件で、ずさんなデータ管理の実態が明るみに出ました。19日からアルゼンチンで開かれる主要20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議では、規制のあり方が話し合われる見通しです。「中央銀行を持たない通貨」は金融工学の「あだ花」で終わるのでしょうか、それとも未来への「夢の切符」になるのでしょうか。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

強豪校の対戦相手はどこに センバツ組み合わせ抽選会

一面、スポーツ面など 17日(土)



第90回記念選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高野連主催)の組み合わせ抽選会が16日、午前9時から毎日新聞大阪本社オーバルホールで行われます。出場するのは一般選考33、21世紀枠3の計36校。史上3校目の春連覇を狙う大阪桐蔭(大阪)をはじめ、強力打線を誇る東海大相模(神奈川)、明治神宮大会覇者の明德義塾(高知)など強豪校の初戦の相手はどこか。21世紀枠で選ばれた由利工(秋田)、伊万里(佐賀)、膳所(滋賀)の組み合わせは、23日に阪神甲子園球場で開幕する大会に向け、いよいよムードが高まっています。